

西宮秀 水戸藩主徳川斉昭夫人就き奥女中。維新後は生活難で、様々な営業しながら、貴重な記録を遺した。
にしみやひで
高島砲術・1834 = 江戸小石川の水戸藩邸で生れる。弘道館訓導から同藩主徳川斉昭側近となった西宮宣明の娘。

大塩平八郎乱1837 = 3歳 :

勸進帳初演・1840 = 6歳 : 手習い・諸礼入門 ,

順天堂始・1843 = **9歳** :

天保改革終・1844 = 10歳 : 茶道・薙刀に取組み ,

阿部正弘首座1845 = 11歳 :

孝明天皇・1846 = 12歳 : 裁縫を稽古も始める。

・ ・ ・ ・ ・ 1847 = 13歳 : 風邪を患い、それが母にうつって母を失う。父弟妹の世話をし、

北斎没・ ・ ・ 1849 = 15歳 : 新しい母を迎える。

国定忠治磔・1850 = 16歳 : 斉昭夫人吉子の小姓に上る。秀という名をもらい、和歌を詠む。

万次郎帰国・1852 = **18歳** :

ペリー来航・1853 = 19歳 :

蕃書調所・ ・ 1857 = 23歳 : *日米通商条約勅許をめぐって斉昭は江戸の駒込屋敷に謹慎、ついで国元水戸に永蟄居となり、秀は夫人の供をして水戸へ赴く。

五ヶ国条約・1858 = 24歳 : この頃、紀行文「隅田川日記」を著す。

桜田門外変・1860 = 26歳 :

遣欧使節・ ・ 1861 = **27歳** :

明治維新・ ・ 1868 = 34歳 : 明治維新となり、

戊辰戦争終・1869 = 35歳 : 東京の父のもとへ戻る。

初の日刊新聞1870 = **36歳** :

学問のすすめ1872 = 38歳 : 旧藩主昭武に従う父とともに水戸へ下る。水戸で婿養子国友宣徳と結婚、

明治6年政変 1873 = 39歳 : *男子宣孝を生むが、夫は離縁となる。生活困難のため、芸者・女郎屋への貸布団屋を開き、その後親の反対を押しきり芸者置屋を営む。

沖縄県編入・1879 = **45歳** :

明治14年政変1881 = 47歳 :

新体詩抄・ ・ 1882 = 48歳 : *靴屋に奉公する宣孝とともに上京、呉服屋の店をまかされ、また下宿屋・金貸業を営む。

初の対等条約1888 = **54歳** :

帝国憲法発布1889 = 55歳 :

日清戦争始・1894 = 60歳 :

八幡製鉄始・1897 = **63歳** :

日露戦争終・1905 = 71歳 :

満鉄発足・ ・ 1906 = **72歳** :

老後は各地を旅行して楽しみ、

明治天皇没・1912 = 78歳 : *回想記「落葉の日記」を遺して、没した。